

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	0	適切な行われている。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	1	0	各職種、適正である。 曜日や時間帯で少ない時もあるが、利用児を見守る体制の工夫はしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	0	0	車椅子や身体障害のある利用児に対応したスロープを設置している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	4	1	常勤職員は参画できているが、非常勤まではできていない。 職員会議の議題でなるべく多くの職員が参画できるようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1	1	今回の自己評価のアンケートを通して、頂いた意見を基に業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	0	HP上で公開をしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	4	明確な第三者の外部評価は行っていないが、同法人内の他部門や他事業所の関係者の意見を聞き、業務改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	0	定期的な内部研修の開催や、外部の研修に積極的に参加をさせている。なお、外部研修の受講者による研修報告を職員会議内で行っている。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	各利用児の問題点を抽出し、個々に応じた支援計画を作成している。特に子どもや保護者と話をし、ニーズや課題をいち早く察知できるように努めている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1	0	独自の聞き取り等でアセスメントを行っている。 強度高度障害の評価に関しては参考にしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	0	プログラムの立案を各担当者が毎月たき台を作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	0	毎月の行事予定等を職員会議で話し合いマンネリ化しないように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	2	平日、休日、長期休暇に応じ利用児に沿った支援内容で取り組んでいるものの、細かい設定等に課題が残る。明確な課題は決めていないが個々の利用児が楽しく過ごせるように配慮はしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	質問9～13の流れで個々の子どもに応じた活動計画を立てている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	2	1	支援開始前の打合せが出来ない日もあるため、前日支援終了後に次の日の支援や分担を周知している。全職員が、当日終業前に前日の申し送りの確認をできるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9			毎日必ず当日の振り返りを行う。明日の予定や分担等も周知している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1		日々の支援や問題点の記録については、HUGというシステムにて毎日記録を残している。更に申し送りノートも作成し、全職員が回覧できるようにしている。今後は更なる検証・改善は必要。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			定期的なモニタリングによる計画の見直しは適時に行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7	1	1	ガイドラインの総則に従っての支援を行っているが、全職員がガイドラインを把握が出来ていないため、今後は研修等を行い再度周知を行っていく。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			担当者会議には、管理者や児発管だけでなく、各利用児に関わりが深いと思われる職員が出席し、発言をできるようにしている。	
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9			学校との情報共有や連絡調整は出来ていると思われる。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2	4	緊急連絡先としてかかりつけ医療機関を保護者よりお聞きしているが、主治医と直接の連絡体制は整えられていない。保護者からの情報交換にとどまっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	3	修学開始時に利用となる児童がいないため、現時点では就学前の関係機関との交流に至っていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9			移行時の支援会議棟には確実に参加して、現時点での状況や問題点を報告している。求められれば保護者の同委の下、情報提示を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		5	児童発達からの利用開始の子どもがいないため、その機会がない。今後そのような機会がある場合は行いたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	7	昨年はコロナ禍の影響もあり機会がなかった。状況を見極めて機会を作っていくたい。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	5	2	2	現在コロナ禍で、そのような機会が開催される機会が減ってきているため参加できていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			帰りの送迎の際には保護者に当日の様子や今後の予定等を保護者に直接話すように全職員に周知して、確実に行えている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3	4	上記のように保護者との話の中で、情報共有や助言等は行っているが、専門的なペアレント・トレーニングは行えていない。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			利用開始時や変更が出来た場合には確実に保護者に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			相談や悩み等を、保護者が話しやすい雰囲気心掛けて、話があった際は、早急に対応して助言や支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	7	コロナ禍の影響もあり、開催できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	1	苦情受付を設置している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			毎月1回のリフライ通信の発行と、適時にFacebookを更新して、保護者に活動状況を周知している。行事予定は予定表を作成して前月中旬に保護者に配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	9			個人情報の研修等を開催している。全職員に就業規則内で個人情報に関する事項を確認している。個人情報の取り扱いに違反した場合は罰則も検討中。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2		7	コロナ禍の影響もあり、開催できていない。今後、検討していきたい。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2	3	各マニュアルは作成しているが、全職員に周知徹底はできていない。今後、職員には各マニュアルの研修を行いたい。保護者には周知する機会を作っていくたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1	5	年1回の避難訓練を行ってきたが、昨年はコロナ禍で開催できなかった。救出の訓練に関して、AEDの取扱いの講習会を開催した。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2	4	内部研修では虐待防止の研修を行っている。外部の研修にも積極的に参加させる意向だが、昨年はコロナ禍で参加できていない。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	2	4	基本的にどのような場合でも身体拘束を行わないことを前提に、支援会議等で提案させて頂き承を得て、計画に機会している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	3	食物アレルギーに関しては、利用開始時に保護者に食物アレルギーの調査表もしくは口頭で報告してもらっているが、医師の指示書に基づくものではない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2	3	毎日の振り返りや申し送りノートへの記載で共有はしているが、事例集としてはまとめられていない。